



### ③須原地域の好ましい現状と気になる現状

#### 須原地域の好ましい現状——魅力

- 地域住民同士で子どもたちや高齢者を見守る仕組みがあり、良い関係性が築かれている。
  - 少子高齢化や人口減少が進むなか、集落の伝統行事や祭り、共同作業等は実情に合わせながら工夫して実施されている。
  - 各集落では、地域の茶の間の会や花いっぱい運動などがシニア世代を中心に行われ、元気に生活している。
  - 小・中学校では、伝統芸能や伝統行事（塞の神）等を、学校行事として継承し、地域住民が講師として協力している。
  - 地域の人々は、部活動やスキー授業、学校行事（遠足・出前授業・体験活動等）など学校への協力を惜しまない。
  - 地域課題の解決に向けた組織を立ち上げ、活動を行っている。
- 例：元気すもんプロジェクトチーム、須原スキー場活性化プロジェクトチーム



伝統を継ぐ子どもたち

#### 須原地域の気になる現状——課題

- 集落の人口減少、高齢化が進み、伝統行事、集落共同作業など地域を担う人材が不足している。
- 地域役員など同じ人に負担が集中している。
- 公共交通が利用しづらく、主に高齢者の買い物や通院に不安がある。
- 地域の中で、子ども同士で遊び、学ぶ機会と場が少なくなっている。
- 本当に必要な人に必要な情報が行き届いていない可能性がある。
- 伝統芸能や伝統技術の継承、文化財の保存等、後継者不足による衰退が懸念されている。

### 3. 第4次須原地域振興計画

#### ①理念と基本目標

理念

かがやく須原！ 子どもも大人も！ 生き活きと！

基本目標

世代から世代へ「つなぐ・つたえる・つむいでいく」ために  
共にかかわりあい支えあう地域づくり

- 計画期間は2023年（令和5年度）～2027年（令和9年度）の5年間とします。
- 本計画に基づく具体的な事業は、毎年度の事業計画において定めます。

#### ②活動計画の骨子

これからも地域の魅力を維持していくためには、誰でも参加できる関係性、役割分担できる仕組みづくりが大切になってきます。

課題に対しては、子どもから若手、シニア世代まで皆さんの知恵や力をお借りして地域を維持する仕組みづくりが必要となっています。

#### 住民が安心して暮らせる地域づくり

地域の子どもから若手、シニア世代まで安心して安全に暮らせるように、課題解決の仕組みづくりに取り組んでいきます。

#### 世代間交流の場づくりによる地域一体感の醸成

世代間交流は、各世代が交流できる場をつくり、コミュニケーションをとることによって生まれてきます。コミュニティ協議会は、各世代の力を活かした「コミ協事業や集落行事」を通して、笑顔あふれる元気な地域づくりを目指します。

#### 地域ぐるみで子どもたちを健やかに育む

守門の子どもの健やかな成長を願い、学校行事や地域行事等のさまざまな体験活動を地域ぐるみで支援・応援し、子どもたちに地域愛を育む活動を実施していきます。

#### 地域資源を活かした元気な地域づくりの支援

守門地域には、文化財（国重文 目黒邸、佐藤家住宅など）や観光資源（魚沼須原スキー場、JR 只見線など）、豊かな自然（山、川、山菜など）等、地域資源が多く存在します。この豊かな地域資源を活用して交流人口を増やし、地域を元気にする組織や団体への支援や協力を行います。また、伝統芸能や文化財の保存に関する仕組みづくりを検討していきます。